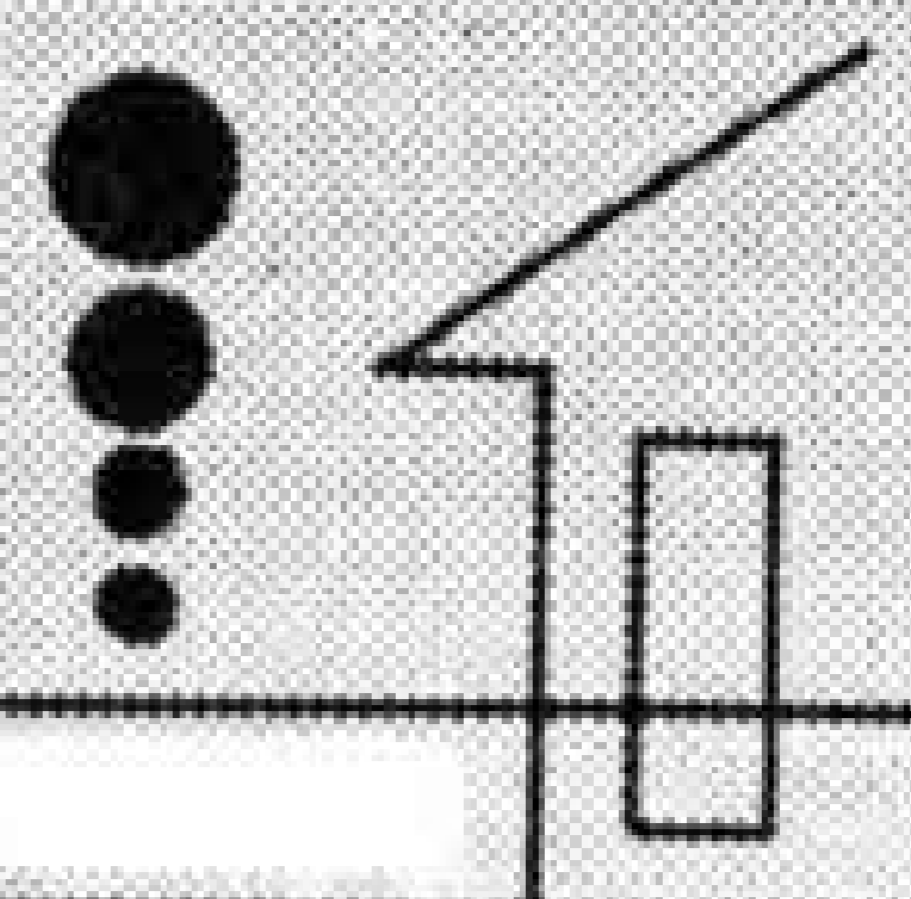


市政モニター提言



もっと子どもたちに 遊び場を

問

市内に児童公園が少ないのにあきれてしまう。特に駅南地区に少ない。市営住宅が密集している宮島、千鳥町、富士見カ丘には子どもの遊び場さえない。これでは情操の豊かな人間が育つわけがない。

立派な遊具などいらないから、チビツコに広場を与えてやつてほしい。そうすれば、みんなが協力して広場をつくると思う。町づくりとはそういうものではないだろうか……。(白井雪枝)

答

市内には児童の遊び場が100余カ所にあります。このうち20カ所が1000平方メートル以上の広さの遊び場です。

これらの遊び場は、各地区、各町内で

用地の予定をたてていただき、遊具に対して市と社会福祉協議会で補助をしています。

今年度は10カ所に対して補助を行ないません。なお、富士見カ丘には2カ所に遊び場が設けてあります。千鳥町にはまだ遊び場がありませんので、地区で相談していただき、用地などについて検討していただきたいとします。

なお、市ではこのほかチビツコ広場の設置をすすめています。これは空地を利用して、さくや整地をして子どもたちが飛び回れる広場づくりです。土地所有

者で空地をお持ちの人は市にお貸しいただきたいとします。もちろん、所有者が使用するときはすぐにお返しします。

こどもの遊び場については以上のように行なっていますので、みなさんの協力をお願いします。(福祉事務所)



消火栓は地上式に したらどうか

問

私たちが施設を要望するときなど、役人はとかく「そこで何人死亡したのか」「何人負傷したのか」とか聞く。しかし、それでは後の祭りだ。また、せつかく施設をつくっても役に立たないものが多い。

たとえば消火栓がそうだ。地下のものは水がたまったり、砂にうもれて緊急のときに役に立たない。立ち上りの消火栓が非常に便利で有効だと思う。設置する場所にしても、住民から要望のでもまえに検討するのが消防署の仕事ではないの

か。災害が発生してから検討するのでは遅すぎる。(山崎栄一)

答

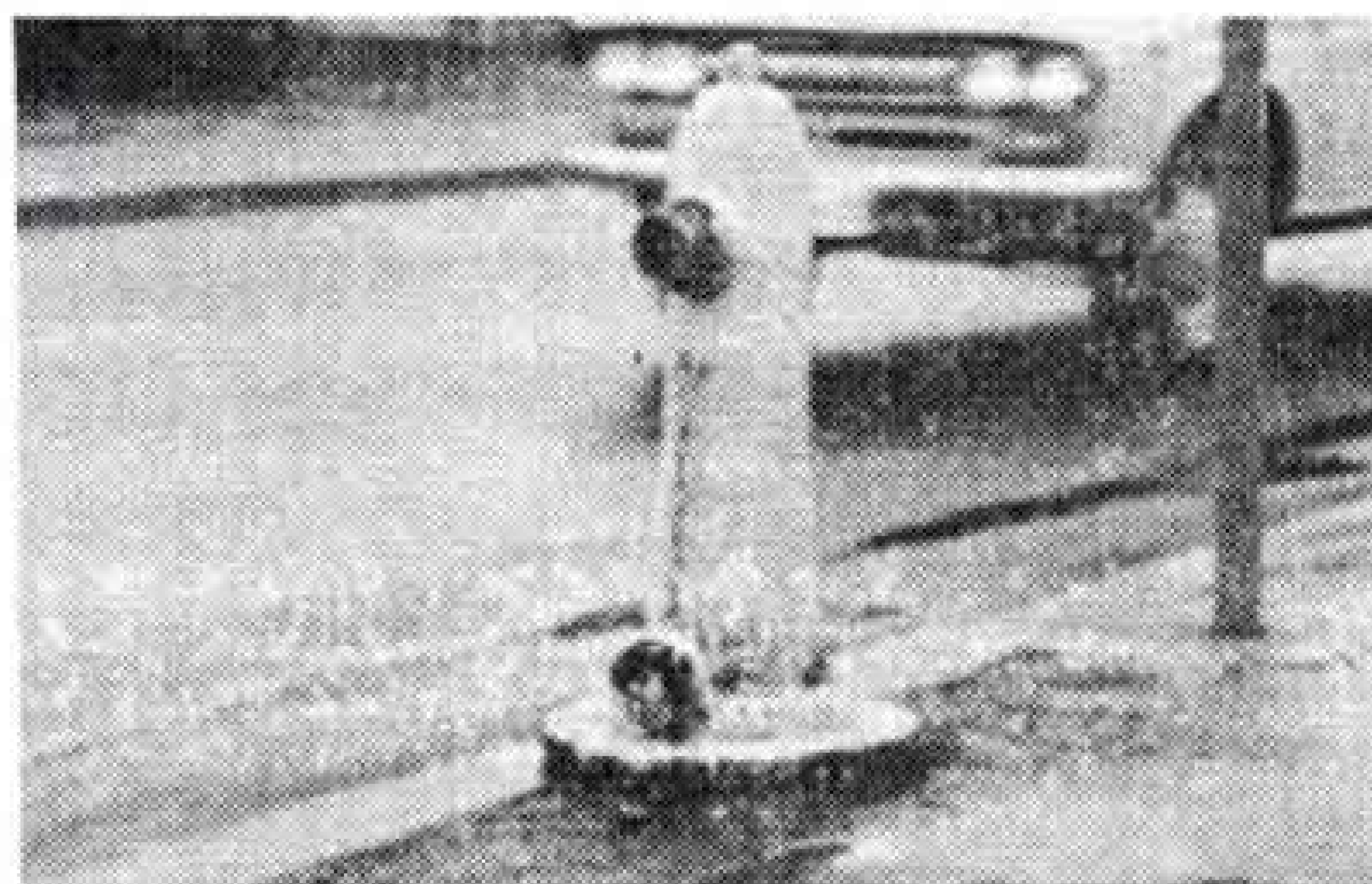
ご指摘の地上式消火栓は、地下式にくらべて確認が容易で操作が簡単な利点があります。しかし、さいきんの交通事情では通行の障害になつています。

昨年、車輛によつてこわされた消火栓は18基もありました。このほか、車の出入りのじやまになるので移設してほしいという要望が16件もあり、年ごとに多くなつています。

こうした事情から全国的に地下式に切り替えております。富士市もこれからは地下式のものを採用していく方針です。

また、消火栓の新設など消防水利については、隔月ごとに市内全域の調査をしています。この調査で新設場所の検討はもとより、故障カ所の修理を行ない、水利の確保につとめています。

(消防本部管理課)



【こわされやすい地上式消火栓】

固定資産の課税台帳をおみせします



固定資産税を課税する台帳をおみせしますので、関係のある人はご覧ください。特に昨年中に新しく土地を買つたり、家を新築した人はご覧ください。

- ◆お見せする期間は 3月1日から3月20日まで。時間は平日が午前8時30分から午後4時45分。土曜日は正午まで。
- ◆お見せする場所は 市役所 総務部 資産税課 (庁舎3階南側)